

少年の非行や被害のない夏休みに



夏休みを控えたこの時期、気の緩みや解放感による非行・被害の増加が懸念されます。少年の非行・被害防止のため、家庭や地域で子ども達を見守っていきましょう。

家庭では・・・



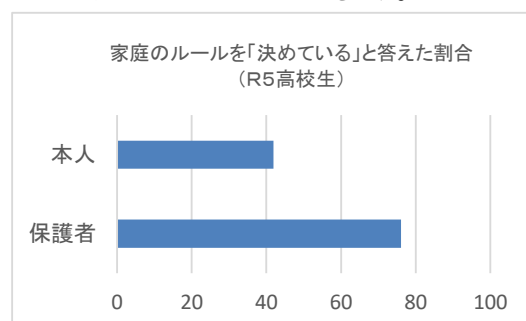
○子どものインターネット利用に関心を

インターネットは便利で楽しい反面、使い方を誤ると加害者や被害者になってしまう場合があります。注意が必要です。

スマートフォン等の通信機器にはフィルタリングを適切に設定するとともに、親子で使用する際のルールを決め、子ども達の利用の様子を見守り、ルール違反があった際には、見過ごさず注意しましょう。

☆保護者はルールを定めたつもりでも、子どもはそう思っていないケースがあります。

- ① 「何時まで」等、ルールは具体的に設定する。
例) 〇時になったら、電源が切れるように設定する。
- ② 作ったルールを守れるか、お試し期間を設けてみよう。
- ③ 「守れなかったら、3日間保護者がゲーム機を預かる」などのペナルティをつけよう。
- ④ 子どもの成長に応じてルールを見直そう。



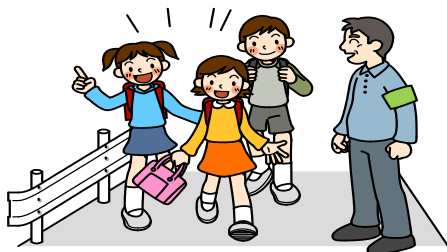
○子どもの外出、帰宅時間を把握

山形県健全育成条例に基づき、午後1時から翌朝4時までの徘徊は、深夜はいかいとして補導対象になります。

深夜はいかいは、犯罪やトラブルに巻き込まれる危険性が高く、同様に夜遊びを繰り返しているグループに引き入れられるなど、他の不良行為を誘発するおそれもあります。

夜遅く帰宅した場合は、「たかが夜遊び」と思わず、毅然とした態度で向き合しましょう。

地域では・・・



○子ども達に「こんにちは」のひと声を

地域の大人の目が、子ども達を犯罪から守るとともに、子どもの健全育成や非行防止につながります。

「大人が見守っていること」を子ども達に伝えましょう。

深夜に出歩いたり、喫煙、飲酒、グループで集まって騒ぐなどの行為をしている子ども達をみかけたら、すぐに警察へ通報をお願いします。

薬物乱用防止

○若年層の大麻乱用に危機感を!

全国的に、若年層による大麻乱用が拡大しています。

インターネット上には、「大麻は、身体に害はない」「外国では合法だ」等、大麻の普及を促す情報が溢れています。

友人・知人からの誘いを断れず手を出してしまうと、最終的には止められなくなり、悪い仲間からも抜けられなくなります。

全国的には、食品に加工された大麻類似品を口に、体調不良を引き起こした例が報告されています。

また、県内においても、吸引器具が市販されている現状があります。

社会全体で、「大麻を含む違法薬物は許さない」という毅然とした意識をもちましょう。

